

## 「平串トンネル工事」現場見学会報告書

地域活動部会四国支部 福家

地域活動部会四国支部では、6/16に「平串トンネル工事」（戸田建設㈱施工）の現場見学会を開催しました。

工事関係者の皆様には多大なご支援をたまり、感謝申し上げます。

当工事は、一般国道56号窪川佐賀道路のうち、L=1,337mのトンネル工事です。

当工事では、工事騒音、地下水など周辺環境にも十分に配慮しながら、順調に掘削を進めておられました。

また、BIM/CIM、各種新技術等を活用して、積極的に工事の安全性や生産性の向上にも取り組んでおられ、大変刺激をいただきました。

参加各位には大変満足していただけたようです。

見学会の概要は次のとおりです。

1. 工事名 : 令和2-5年 窪川佐賀道路平串トンネル工事
2. 施工者 : 戸田建設株式会社
3. 発注者 : 国土交通省 四国地方整備局
4. 工事場所 : 高知県高岡郡四万十町
5. トンネル概要 : 延長 1,337m 工事延長 1,640m 発破掘削 NATM
6. 開催日程  
6月16日（金） 13:00~13:45 工事概要などの説明  
13:45~15:00 現場見学  
15:00~15:30 質疑、意見交換

### <<見学会の状況について>>

#### ・参加者数について

数日で定員25名に達したため、現場にお願いして28名まで増員していただきました。

しかしながら、多くの方々に参加を断念していただくざるを得ませんでした。

連絡バスや会議室の定員など、受け入れ態勢には限度がありますので、ご理解のほどお願い申し上げます。

なお今回は、関東支部の見学会と合同で開催させていただきました。

## ・現場の状況について

掘削は終盤にかかっておりました。

工事の特徴と実施状況は次のとおりです。

- ① 地質は四万十層群の砂岩泥岩互層であり、砂岩が主体 湧水を想定  
→予想以上の湧水があり、濁水プラントを増設して対応  
排水対策を実施し、路盤の泥濘化を防止  
地表の沢水や水田に影響なし
- ② 発進側の坑口付近に民家が近接  
→坑口ヤードに吸音パネル式万能版の設置  
坑口にコンクリート充填 2 層式防音扉の設置
- ③ 発進側坑口に、地すべり跡が観察された  
→押さえ盛土を施工
- ④ 事前調査にて重金属（ヒ素）が検出された  
→前方探査と土壌分析試験を実施中

## ・現場での取り組みについて

当現場では、様々な取り組みがなされていました。

これについては「施工の神様」という web ページに詳しく紹介されています。

大変興味深い内容ですので、是非ともご一読ください。

下の url を開けない場合は、「施工の神様、戸田建設」で検索してください。

- ① 現場における取組みについてはこちらで、詳しく紹介されています。

<https://sekokan-navi.jp/magazine/65061>

- ② 加藤所長の思いについては、こちらをご覧ください。

<https://sekokan-navi.jp/magazine/65215>

<<最後に>>

現場の皆様が楽しそうに仕事をされていることに、なによりも感動して岐路につきました。加藤所長はじめ現場の皆様、本当にありがとうございました。

なお、見学会のあとで、高知にて有志による懇親会を開催しました。トンネル談義で盛り上がったのは言うまでもありません。

今後も、よろしくお願いいたします。

集合写真（ドローンによる撮影）



坑内の見学状況



事務所での概要説明

